

報 道 配 布 資 料

平成 23 年(2011 年) 7 月 14 日

| 所 属 名 | 所属長名 | 部局長等名 | 担当者氏名 | 連絡先 |
|---------------|---|-----------------------------------|--|--------------|
| 山口県立大学 | 学長 えさと けんすけ 江里 健輔 | 大学院国際文化学研究科長 すずき たかやす 鈴木 隆泰 | 国際文化学部 文化創造学科 みずたに ゆ み こ 教授 水谷 由美子 | 083-928-2550 |
| 発表内容の 関係地域 | [<u>全県</u>]、岩国、柳井、周南、[<u>山口</u>]、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩 首都圏 | | | |

1 件 名

山口県立大学 大学院 国際文化学研究科
公開授業 特別シンポジウム 2011 の開催について

2 趣 旨

山口国際文化学研究の一環として、大学院の授業「文化コーディネート論」の成果をシンポジウムの形式で公開し、文化芸術による地域創造に関する実践や将来の可能性について市民の皆さんと意見交換することを目指す。

3 日 時

7 月 27 日 (水) 開場 : 18:00
開演 : 18:30~20:30 (入場無料)

4 場 所

山口市 菜香亭
〒753-0091 山口市天花 1-2-7
TEL : 083-934-3312 FAX : 083-934-3360

5 概 要

今年度の文化コーディネート論では、国際交流と歴史資源、舞台芸術とプロデュースやメディア戦略、文化芸術による地域文化創造、そして地域資源をいかしたまちづくりなどの分野から学習してきました。それを踏まえて本シンポジウムでは、「山口市徳地の地域資源をいかした豊かなまちづくりの提案—国際交流・文化芸術振興・産業振興の視点から—」をテーマとして、講師 4 名と大学院生 3 組のプレゼンテーションを行います。今回は助言の受け手として徳地の関係者をゲストにお招きしています。

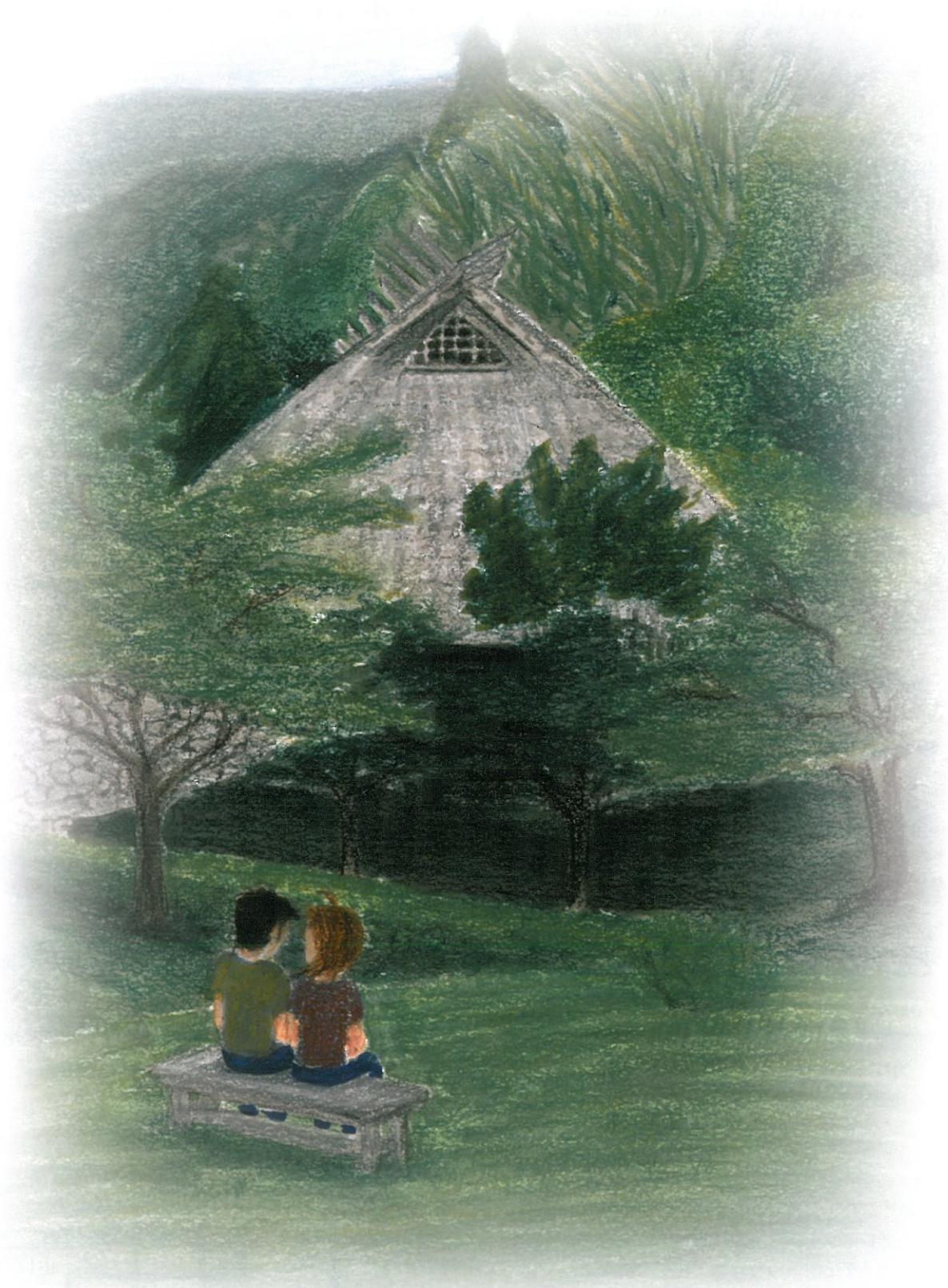
6 問合先

山口県立大学 大学院 国際文化学研究科
教授 水谷 由美子
TEL&FAX : 083-928-2550

文 化 日 本 学 論

山口県立大学大学院国際文化学研究科
平成23年度第4回国際文化学研究会

公開授業 特別シンポジウム 2011
- 山口市徳地の地域資源をいかしたまちづくりの提案 -



〈日時〉 平成23年7月27日 (Wed)

〈会場〉 山口市菜香亭

開場：18:00
開演：18:30～20:30 (入場無料)

〒753-0091 山口市天花 1-2-7
TEL:083-934-3312 FAX:083-934-3360

主催：山口県立大学大学院国際文化学研究科
後援：山口市

文化コーディネーター・フォーラム

山口県立大学大学院国際文化学研究所 公開授業 特別シンポジウム 2011

〈日時〉

7月27日 (Wed) 開場：18:00
開演：18:30～20:30
(入場無料)

〈会場〉

山口市菜香亭

〒753-0091 山口市天花 1-2-7
TEL:083-934-3312 FAX:083-934-3360

今年度の文化コーディネート論では、国際交流と歴史資源、舞台芸術とプロデュースやメディア戦略、文化芸術による地域文化創造、そして地域資源を活かしたまちづくりなどの分野から学習してきました。それを踏まえて本シンポジウムでは、「山口市徳地の地域資源をいかした豊かなまちづくりの提案 - 国際交流・文化芸術振興・産業振興の視点から -」をテーマとして、講師4名と大学院生3組のプレゼンテーションを行います。今回は堤言の受け手として徳地の関係者をゲストにお招きしています。みなさまお誘い合わせの上、多数ご来場頂き、活発な議論の花を咲かせて頂きますよう、お待ち申し上げております。

【コーディネーター】水谷由美子（山口県立大学大学院国際文化学研究所教授）

プログラム

| | |
|-----------|-------------|
| 作品展・会場巡検 | 18:00～18:20 |
| プロローグ | 18:30～18:35 |
| プレゼンテーション | 18:35～20:00 |

・〈史跡〉石風呂の将来像

800年以上の歴史を持つ石風呂。異空間体験のできる希少な資源であるにもかかわらず、現在はその魅力を活かしきれていない。森と湖のフィンランドから着想を得たこれからのサウナ文化を提案する。

北林 健二 張 亮 松原 直子 松原 信政

・徳地アートマップ

徳地地域に在住する芸術家やデザイナーの活動を広く伝える。伝統的な地域資源や文化を紹介するための日中韓三ヶ国語で、観光地図を制作する。これにより徳地地域の観光の活性化を図る。

安 ジンソル 崔 延萍 藤田 幸司

・地域資源の活用と提案

「徳地の涼をもとめて」というコンセプトのもとに徳地の地域資源を使って制作を行う。地域資源の可能性を探り、徳地の新たな魅力を提案する。

浅田 陽子 北口 絢章 武永 佳奈 Severikangas Tanja

・徳地の人物資源 入江正敏（山口メディア研究所所長）

明治新政府が発した「神仏分離令」。解釈の違いで、仏教排斥運動が起こり、日本各地の寺院や仏具が破壊されるという日本史において汚点となる事件が起こった。この排斥運動を終息させたのが維新の傑僧、妙誓寺（徳地島地）住職であった島地黙雷である。

・地域の思いを達成するためのマネジメント力

山崎 篤典（いわみ芸術劇場名誉館長）

地域おこしのためのプロデュース・マネジメントの必要性とは。なぜ、山口県に「人形芝居」が多く現存しているのかその理由とそれらの財産を保存するだけでなく活用する方策を考える。

・文化は点でなく面 齊藤 郁夫（山口県立美術館学芸専門監）

山口県立美術館で昨年開催した吉村芳生展。作品を見せただけでなく、徳地という場所と吉村芸術の密接な関係を浮き彫りにした映像を作ったり、カフェやショップで徳地特産品も販売したりして、地域と文化の関係を伝えようとした。

・中山間地域の活性化の問題点と課題（美祢市の場合）

後藤 秀樹（彫刻家）

美祢市でのまちづくり、活性化をとおして、実際に感じたことを題材に、中山間地域での見落としがちだが、重要な要素、「当事者視点と見えない利益」について紹介する。

意見交換会 20:00～20:25

- ・徳地の方々からのご意見、ご感想などの意見交換会。
- ・ご来場の皆様に、プレゼンテーションに関するご意見やご感想、また、山口における文化創造の持論やアイデア等を語っていただきます。

エピローグ 20:25～20:30

鈴木 隆泰（山口県立大学大学院国際文化学研究所長）

〈お問い合わせ〉

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1 TEL & FAX : 083-928-2550
E-mail : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp（山口県立大学水谷研究室）

山口市菜香亭 / アクセスマップ

